

モリメイト通信

本気で遊ぼう！モリメイト

6 月 1 日 (木曜日) カブトムシの森周辺と植樹地の草刈りをする

【参加者：池本、梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中

計 8 名】



カブトムシの森周辺とクヌギの植樹地の草刈りを行った。

刈っても刈っても生えてくる草と呼ばれる植物たち。強い日照、水不足、土壌の少なさと乏しい肥料分、埃や煤煙、それに踏みつけ、草刈りなどの過酷な環境を乗り越え、生き続けている草にはこんな力が秘められていた。

- ◎ 踏みつけに対する耐性を持っているもの
 - ◎ 種子や地下茎でも繁殖する強いすべ力を持つもの
 - ◎ 普通に育てば 1m を超えるが、条件が悪ければ 10 センチにも満たない株が花をつけ、一世代の時間や成長に融通が利くもの
 - ◎ 水田で稲の間に生え、稲と同じくらいの背の高さで稲によく似た株の形になる。そして、同じ頃に結実して小さな種子を稲刈りの前に落とし、駆除の目を潜り抜ける。このように、田の管理に沿って世代を繰り返すもの
 - ◎ 刈り取りが行われて植物がなくなり、強い日照を得たとき芽吹いてくるもの
 - ◎ 種子や根茎が休眠に適する構造を持ち、条件の悪い時期をこれで乗り越える。そして好適な条件になると発芽するのだがこの時全部が発芽せず休眠を続けるもの
- 暑い暑いと言いながら草刈りをしているが、悪い環境でも乗り越えるすべを身につけ、生き延びている草は凄い！と感心せざるを得ない。

6 月 8 日 (木曜日) この時期に咲く花を求めて園内を散策する

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中

9 名】

サギソウ園で、キバネツトトンボの卵とハッチョウトンボを発見
優しいピンクのトキソウもあちこちに

今年もいつもの場所にササユリが楚々とした姿を見せてくれた

モリメイトフィールドの花菖蒲が咲き始め、あと数日で満開を迎えそうだ

西日を遮るためにシイタケランドに植えたクヌギの苗木の周囲に生い茂る笹を刈り取った



6月15日(木曜日) 花菖蒲が咲きそう

モリメイトフィールド周辺の整備

【参加者;池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 10名】



薄紫色の花菖蒲が咲きそろった。群生する花菖蒲が梅雨空のモリメイトフィールドを明るくしてくれている。

先日の大雨で花菖蒲園の前の小川にかかる橋が流されたので新しいものに付け替えた。

その後、分かれて、カブトムシ

の森周辺とモリメイトフィールド周辺、クヌギの植樹地の草刈りを行った。



モリメイト会議

- ・「子ども達体験倶楽部」の依頼を受けて7月15日に行うイベントの活動内容を確認する。
- ・森林ボランティア活動支援事業助成申請書の最終検討をする。

6月29日(木曜日) ビートルズベッド補修用の材を用意する

【参加者;池本、越智宏、越智美、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中、濱田 計10名】

モリメイトフィールドに着いてすぐ、花菖蒲の花が終わったのでの花殻摘みを行った。

その後、ビートルズベッドの補修用の材を用意するために、直径15cm前後の杉と檜を除伐。杉林の中は、日照は遮られているのだが湿度が高いため、除伐作業は、汗がとめどなく流れ、かなりの体力を消耗する作業である。9本を除伐し、皮むきができるところまで運び出して皮むきを始めた。皮むきは、スーッとむけた時の快感と木の香りと木肌の美しさに出会うことができる楽しい作業である。5メートルの長さに切って、明るいところにしばらく置いておくことにした。ある程度乾いたらビートルズベッドの補修作業に取りかかる予定である。

午後から、子ども達体験倶楽部のイベント会場になる場所を整備した。ササや草を刈り、椅子代わりに丸太を設置して話が聞ける場所を作った。

